



目指す児童像 **かしこい子 やさしい子 たくましい子**
目指す学校像 **みんなで とんときも りかいしあえる学校**



【学校ホムペーヅ】

2月 立春が過ぎ、寒さの中にも春の足音が聞こえてきます。学校では、卒業式の準備や練習が始まりました。1年があっという間に通り過ぎていくのを感じます。

6年生は、小学校6年間の締めくくりをしようと一日一日を大切に過ごしています。5年生は、6年生を送る会や卒業式に向けて、リーダーシップを発揮して頑張っています。1～4年生も、学年がひとつ上がることを意識し、様々な活動に意欲的に取り組んでいます。

制限のかかる中で最善を尽くす！



1月に緊急事態宣言が発出され、感染症防止対策を講じながら教育活動を進めてきました。安全を第一に考えた上で、「制限のかかる中、子供たちのために最善を尽くす！」をモットーに工夫して取り組んできました。



「感謝する会」は中止にしましたが、お世話になった方に感謝の思いを伝えることは、子供たちの成長の過程でとても大切な教育です。そこで、収録という形で思いを伝えました。また、「クラブ見学・発表会」は2週に分けて行い、発表会は3年生のみの参加にしました。4年生以上は、お昼の放送で視聴することにしています。練習の成果を友達に認めてもらう(友達の頑張りを認める)ことも大切な学びの場です。また、1年生は、生活科で幼稚園生との交流をしてきましたが、今年はそれができません。そこで、「小学校のお勉強を年長さんに知らせよう」をテーマにして、ビデオに撮ることにしました。この活動を通して、入学してからこれまでを振り返り、できるようになったことがたくさんあることを知って、自身の成長を実感することができたようです。収録後は、交流のある幼稚園生や保育園生に視聴してもらおうと考えています。



このように、今年度は、これまで当たり前に来てきたことができない一年でした。そんな中で、「何ができるか、どのようにやるか。」を、その都度模索して進めてきました。子供たちのキラキラと輝いた瞳を見るたびに、「こうして工夫してやってきて良かったな。」と胸を熱くしています。

グローバル化や人工知能(AI)などの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの時代。子供たちには自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、判断して行動し、よりよい社会や人生を自ら切り拓いていく力が求められます。学校では、「子供たちが10数年後に笑顔で社会の担い手になっているためには、今、どのような学びをつくれればよいのか。」を常に考え、意識しながら日々の授業に取り組んでいます。

今年度から、3,4年生が35時間の外国語活動、5,6年生が70時間の外国語科の学習をしています。また、社会の変化を見据えた新たな学びとして「プログラミング教育」を、教科等の中に少しずつ取り入れています。来年度からは、一人一台のタブレットが用意され、学習の仕方も大きく変わってきます。

学び方は変わっていきますが、「子供たちにどのような資質・能力を育てるのか。」「この時間に子供たちに身に付けたい力は何なのか。」を常に念頭に置きながら指導していきたいと思えます。

子供たちの日々の活躍の姿やPTA活動、ボランティアの方々にお世話になっている様子などをホームページに掲載しています。どうぞ御覧ください。 <https://kanuma-school.ed.jp/e-midori>

第2回 学校評価アンケート結果と考察

	アンケート項目 児童(保護者、教職員) A、B：そう思う、だいたいそう思う C、D：あまり思わない、そう思わない	児童(464名)		保護者(436名)		教職員(38名)	
		A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D
かっこいいアンケート	授業は分かりやすい。(分かりやすいようだ。意欲的に取り組んだ。)	97	3	94	6	92	8
	進んで家庭学習に取り組んだ。	88	12	72	28	87	13
	たくさん本を読んだ。(本をよく読んでいる。)	73	27	50	50	68	32
	相手を見て最後まで聞けた。(最後まで聞いている。聴き方が身に付いている。)	97	3	77	23	79	21
	よく考えて進んで発表した。(意見を言うことができています。進んで発表しています。)	79	21	79	21	74	26
やむを得ないアンケート	学校は楽しい。(学校に行くのを楽しみにしている。学校は楽しいようだ。)	97	3	95	5	100	0
	進んであいさつできた。(あいさつができています。自分からあいさつしている。)	90	10	86	14	63	37
	友達と仲良く生活できた。(友達と仲良くしている。協力したり助け合ったりしている。)	97	3	95	5	95	5
	自分の良いところや得意なことを見つけた。(自分の良さや得意なことを見つけている。子供の自尊心が高まっている。)	92	8	91	9	92	8
たのしいアンケート	先生は子供たちを大事にしてくれた。(教職員は子どもの話をよく聞くなど子供の立場になって接している。先生を信頼しているようだ。)	99	1	94	6	100	0
	外で元気に遊び進んで運動した。	90	10	83	17	92	8
	「早寝・早起き・朝ご飯」ができた。(身に付いている。)	89	11	82	18	95	5
	「手洗い・うがい・歯みがき」ができた。(身に付いている。)	98	2	88	12	92	8
	苦手なものでも少し食べた。(嫌いな食べ物を減らしよく食べている。給食は嫌いなものでも口にしている。)	91	9	79	21	81	19
	安全に気を付けることができた。(自分から安全に気を付けている。)	99	1	92	8	89	11

上の表は、12月に実施した学校評価アンケートの結果です。1回目(9月実施)のアンケートに比べると、全体的に評価が上がりました。特に、児童の評価はほとんどの項目が上がり、数値目標をすべて上回りました。細かな分析として、よくできていると思われる項目(◎)、さらに力を入れたい項目(●)、児童の評価と保護者や教職員との差がある項目(△)は、以下の通りです。

- ◎授業は分かりやすい。 ◎学校は楽しい。 ◎先生は子供たちを大事にしてくれた。
◎友達と仲良く生活できた。 ◎自分の良いところや得意なことを見つけた。
◎「手洗い・うがい・歯みがき」ができた。 ◎安全に気を付けることができた。
●たくさん本を読んでいる。 ●よく考えて進んで発表した。
△相手を見て最後まで聞けた。 △進んで家庭学習に取り組んだ。 △進んであいさつをした。



- ・「子供が輝く魅力ある授業」を目指し、教員が研究授業を通して授業力向上に努めてきた。「思考ツール」や「ステップアップシート」などの効果的な活用が、主体的、対話的な学びへとつながったと考える。
- ・発表については、ペアやグループで話し合わせたり、自分の考えを書いたりしてから発表させたことで、全体での発表が増えてきた。発表の仕方や伝え方を具体的に教えるなどして、継続的に指導をしていく。
- ・読書については、朝のさわやかタイムで時間を確保したり、授業のすき間時間を使って読んだりしているが、家庭での読書の時間がとれない児童が多い。KLVの読み聞かせや図書委員会の読書を勧める活動を通して読書の楽しさを味わわせているので、家庭での読書の時間を確保していきたい。
- ・「友達と仲良く生活」「自分の良いところや得意なことを見つけた」の高数値は、ピア・サポート活動の成果と見ている。自尊心の高まりは、豊かな生活を送るためにも必須なので、引き続き推進したい。
- ・あいさつについては、全校体制で「あいさつ運動」をすることで、ずいぶん意識化されてきた。登校途中のあいさつは、少しずつ改善されてはきているものの、まだ課題は残る。率先垂範！まずは、私たち大人があいさつを進んで交わすことで、あいさつの大切さや気持ちよさを子供たちに伝えていきたい。

学校の教育活動についてのアンケート(「学校の取組が分かる。」「教職員が誠意をもって対応している。」「教育活動を工夫している。」「家庭・地域と連携、協力している。」「安全の確保と整備に努めている。」)の結果は、いずれも95%以上の高評価をいただきました。今後も、保護者や地域の方々の御意見等を真摯に受けとめ、改善を図りながら、児童としっかりと向き合っていきたいと思っております。